

日本地域学会ニューズレター

平成 14 年 no.1

平成 14 年 2 月 15 日

目 次

I.	会長挨拶	...	2
II.	総会報告	...	2
	京都大学で開催された日本地域学会総会についての報告		
III.	理事会報告	...	3
	平成 13 年度第 7-10 回理事会についての報告		
IV.	編集委員会報告	...	5
	『地域学研究』第 31 巻および第 32 巻の編集についての報告		
V.	役員人事等	...	6
	幹事等の交代, 年次大会準備委員会委員等について		
VI.	平成 14 年度 日本地域学会 会費納入のお願い	...	7
	平成 14 年度国内および国際会費請求額, さらに会費早期納入の特典について		
VII.	第 39 回日本地域学会年次大会 (平成 14 年 10 月 5-6 日)	...	8
	論文報告の募集, シンポジウムについて		
VIII.	PRSCO 大会	...	9
	論文発表の申込締切: 2 月 28 日 (abstract の提出)		
IX.	学会賞 授賞者選考候補者推薦の募集	...	9
X.	会員の移動	...	10
XI.	新入会員勧誘キャンペーン	...	11
	『地域学研究』バックナンバー申込書	...	11
	正会員入会申込書	...	12

注意: 平成 14 年度会費請求書が同封されています。

I. 会長挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年(2001年)の日本地域学会第38回年次大会は、多数のノーベル賞を輩出した学問の殿堂であります京都大学の吉田キャンパスで開催されました。大会開催にあたって、計画、準備および実行のすべてにわたり、ご尽力された本学会理事で実行委員会委員長京都大学大学院青山吉隆教授、ご協力いただいた同大学の教官、職員および学生のメンバーの方々に厚く感謝申し上げます。

昨年を省みますと、新世紀の年でありましたが、9月11日に起きたニューヨークの国際貿易センター等への同時多発テロ事件から、その後の、アフガンへの攻撃などがあり、今年は、まだその方向性の定まらない中での新年となっております。

新世紀が、中央計画経済に基づく共産圏の崩壊により、米国を一極中心とする一般均衡理論に基づく国際市場化、グローバリゼーションの幕開けの新世紀と思われておりましたところ、これらの事件は、欧米の経済理論の輸入と咀嚼に悪銭苦闘している日本の経済関係者に多大の困惑をもたらしております。欧米の理論は疑いも無く真理として受け入れてきた人々にとっては、この事件には困惑するのみであります。

考えてみますと、欧米の国民の中でも、一般均衡理論が成立する条件であります完全情報を確保して生活している人は皆無に等しいのではないのでしょうか。デリバティブ取引の数学的解析を確立したノーベル経済学者が、そのデリバティブで大破産をってしまった事例を考えると、このような理論が成立する世界は、夢幻の世界ではないかと思われま

す。世界の数十億の国民は、一般均衡理論の何たるかも知らずに生活し、その中には利子の経済原理を否定する国民が十数億人おります。更に、開発途上国の国民の殆どは、市場経済から阻害されて自給自足の生活をしており、中には生命維持限界で生活している人々が10億人いるというこの世界の現実を考えた時に、国際市場化やグローバリゼーションの言葉が空しく聞こえるのは、私のみでありま

す。よくよく考えてみますと、中央計画経済で崩壊した共産圏も、一般均衡理論に基づく世界も表裏を一体した考えに基づくもので、いかにスーパーコンピュータを酷使したとしても、中央計画的に膨大な商品をすべての人々に、満足を満たすように配分出来なかったと同様に、一般均衡理論の解析においても同様のことが発生することは明らかであり、そして神頼みの均衡となってしまいます。

更にこの格差は益々拡大してゆく様相を示しており、限りなく無限の代替案の可能性が発生しております。このような極限状況において、いかにモデル規範適応していかかが、今私達に問われているように思われます。言い換えれば、そこに無限の研究領域がポツカリと口を空いて待っているように思われます。本学会の若き研究者が、この領域に果敢に挑戦される事を期待いたします。

今年の正月は御屠蘇の飲みすぎで勝手な四方山話を申し上げ、会員の皆様に困惑を与えた新年の挨拶となりましたが、最後に、会員各位のご健勝と益々のご活躍と日本地域学会の益々の発展を心よりお祈り致し挨拶と致します。

平成14年1月1日

日本地域学会
会長 山村悦夫

II. 総会報告

標記総会が、去る平成13年10月20日(土)13:20より、京都大学土木総合館155号室で行われました。まず、はじめに日本地域学会会長(山村悦夫 北海道大学 教授)挨拶の後、外国からの来賓代表として、国際地域学会会長 Geoffrey J.D. Hewings 氏よりご挨拶戴きました。この後、山村会長を議長として下記の通り審議と報告が行われました。

議題

1) 新入会員・退会会員の承認

これに関して氷鉋総務担当常任理事より報告があり、個人会員78名、1団体の入会および個人会員28名の退会を承認。

2) 名誉会員の承認

これに関して藤岡名誉会員推薦委員会副委員長より、6名を推薦することが提案され、異議なく承認。

3) 平成12年度収支決算の報告

これに関して加賀屋財務担当常任理事より支出状況が、白井監事より決算が適正であることが報告され、異議なく承認。

4) 平成13年年度収支予算

これに関して加賀屋財務担当常任理事より予算の説明があり、異議なく承認。

5) 第39回(2002年)年次大会の開催地、開催校の承認

これに関して氷鉤総務担当常任理事より、次期大会の開催校を北星学園大学、日時を2002年10月5・6日とする事が提案され、異議なく承認。

6) 第40回(2003年)年次大会の開催地、開催校の取り扱いの承認

これに関して氷鉤総務担当常任理事より、事務局へ一任する事が提案され、異議なく承認。

7) その他

なし

報告

1) 新入会員キャンペーンの継続

これに関して氷鉤総務担当常任理事より、引き続き勧誘キャンペーンを継続する事が報告された。

2) 『地域学研究(第32巻)』編集委員会の構成

これに関して氷鉤総務担当常任理事より、規程に従い会長、副会長、常任理事、座長および会長指名の若干名で構成される事が報告された。

3) 『地域学研究』第31巻の編集

これに関して関根No.1編集委員長より、編集状況が報告された。

4) *Studies in Regional Science*, Vol.31, No.2の編集

これに関して木村No.2編集委員長より、編集状況が報告された。

5) RSAIの動向

これに関して氷鉤総務担当常任理事より報告があった。

6) PRSCOの動向

これに関して氷鉤総務担当常任理事より報告があった。

7) その他

なし

この後、2001年度第10回学会賞の授与式が執り行われました。有吉選考委員長より経過報告の後、山村会長より下記会員に各賞が授与され、受賞者よりご挨拶いただき、総会は無事閉会しました。

功績賞(第12号) 河上省吾

功績賞(第13号) 福岡克也

論文賞(第10号) 多和田真「地域独占企業に対する規制に関する理論的研究」

奨励賞(第13号) 田中正秀「リバース・モーゲージの利活用による都市再生 - 阪神・淡路大震災の教訓とその適応性 -」

奨励賞(第14号) 井上知子「A Survey of Analysis of the Transboundary Pollution Problems: Symmetric and Asymmetric Dynamic Models」

III. 理事会報告

平成13年度第7回理事会(持ち回り)

日時:平成13年9月15日(土)17:00

議題

1. 新入会員の承認

12名の個人会員候補を審議に付し、承認が得られた。

平成13年度第8回理事会

日時:平成13年10月19日(金)18:00-20:00

場所:京都大学 京大会館102号室

出席者:青山, 有吉, 井原, 加賀屋, 河上, 木村, 河野, 酒井, 鈴木, 関根, 田中, 多和田, 原, 信国, 氷鉤, 福地, 藤岡, 三友, 山村の各理事(ただし, 今泉, 大西, 金, 熊田, 高橋, の各理事より委任状付託); オブサーバとして白井, 宮田の各監事; 萩原(清), 松行の各広報委員会副委員長; 櫻井, 洗澤, 水野谷, 森島の各幹事; 中川年次大会実行委員, 権田実行委員会秘書, 坂田事務局秘書

議題

1. 新入会員・退会希望者の承認

前回理事会以降、申込のあった17名の正会員(個人会員)および1団体の入会と8名の正会員の退会希望を審議し、次回総会に諮る事を諒承.

2. 平成13年度第38回年次大会の運営

これに関して、氷鉤総務担当常任理事より、プログラムの変更が示され、諒承. 総会次第については役割分担を決定.

3. 平成14年度第39回年次大会開催地・開催校

これに関して氷鉤総務担当常任理事より、北星学園大学が候補として提案され、これを諒承.

4. 平成15年度第40回年次大会開催地・開催校

これに関して氷鉤総務担当常任理事より、西日本で検討中であることが報告され、事務局に一任することを諒承.

5. 『地域学研究(第32巻)』編集委員会の構成

これに関して氷鉤総務担当常任理事より、規程に基づき、会長、副会長、常任理事、座長および会長指名の外国人若干名で構成されることが報告され、これを諒承.

6. 平成13年度会費未納者の措置

これに関して氷鉤総務担当常任理事より、例年通り紹介者の理事を通じて督促したい旨提案があり、これを諒承.

7. 『地域学研究』別刷りの有料化・料金値上げ

これに関して氷鉤総務担当常任理事より、今まで25部無料配布していたNo.2の別刷りの有料化とNo.1(およびNo.3)の別刷り料金値上げが提案され、これを諒承.

8. その他

なし

報告事項

1. 平成13年度第7回理事会(持ち回り)

これに関して氷鉤総務担当常任理事より、12名の入会が異議無く承認され、総会に諮ることが報告された.

2. 『地域学研究』第31巻No.1, No.3の編集

これに関して関根No.1編集委員長より、編集状況が報告された.

3. *Studies in Regional Science*, Vol.31, No.2の

編集

これに関して木村No.2編集委員長より、編集状況が報告された.

4. RSAIの動向

5. PRSCOの動向

6. その他

平成13年度第9回理事会(持ち回り)

日時:平成13年12月7日(金)17:00

議題

1. 新入会員の承認

4名の個人会員候補及び法人会員1団体を審議に付し、承認が得られた.

2. 「ノーベル賞100周年記念国際フォーラム」に対する協力(後援)依頼

日本学術会議より標記の依頼がありこれを承諾する事を審議に付し、承認が得られた.

3. ノーベル賞100周年記念国際フォーラム事業への協力依頼

日本学術会議より標記の依頼があり1口10,000円として日本地域学会より参加者1名を派遣する事につきこれを承諾する事を審議に付し、承認が得られた.

平成13年度第10回理事会

日時:平成13年12月16日(日)12:40-13:40

場所:日本交通政策研究会会議室

出席者:青山, 有吉, 太田, 加賀屋, 木村, 熊田, 鈴木, 関根, 田中, 多和田, 戸田, 信國, 氷鉤, 福地, 藤岡, 三友, 矢田, 山村の各理事(ただし, 今泉, 河上, 黒川, 河野, 酒井, 高橋, 原の各理事より委任状付託); 白井, 宮田の各監事; 松行広報委員会副委員長; 櫻井, 渋澤, 水野谷の各幹事; 坂田事務局秘書

議題

1. 新入会員・退会希望者の承認

前回理事会以降、申込のあった1名の正会員の入会と3名の正会員の退会希望を審議し、次回総会に諮る事を諒承.

2. 第38回年次大会の会計報告

これに関して青山大会実行委員長および松中実行委員より、収支が報告された.

3. 第39回(2002年)年次大会準備委員会の構成
原準備委員会委員長が欠席のため、氷鉤総務担当常任理事より1月のニューズレター発行までに、原準備委員会委員長により準備委員会を構成することの報告がされた。

4. 第39回(2002年)年次大会の平行セッションおよびシンポジウムの編成

これに関して氷鉤総務担当理事より提案があり、開催校実行委員および事務局に一任することを諒承。

5. 名誉会員の推薦

これに関して熊田名誉会員推薦委員会委員長より、今回は候補者なしとの報告がされた。

6. 『地域学研究』セット販売の推進

これに関して氷鉤総務担当常任理事より、『地域学研究』のセット販売推進が提案され、これを諒承。

7. 新入会員勧誘キャンペーン

これに関して氷鉤総務担当常任理事より、引き続き勧誘キャンペーンを継続する事が提案され、これを承認。

8. その他

(1)NPO 研究者の会員への勧誘について

これに関して熊田理事より、NPO の研究者への勧誘の提案がされ、これを諒承。

(2)多和田理事より、平成14年1月12日に愛知大学で開催される研究集会「経済のグローバル化と地域統合下での国際的地域経済の諸問題」を日本地域学会共催とすることが提案され、承認された。

報告事項

1. 『地域学研究』第32巻No.1の編集

2. Studies in Regional Science, Vol.31, No.2, Vol.32, No.2の編集

3. RSAIの動向

4. PRSCOの動向

5. その他

1)日本経済学会連合国際会議派遣候補者の推薦の取扱い

これに関して氷鉤総務担当常任理事より、例年通り扱うことが報告された。

2)平成13年度第9回理事会(持ち回り)

(1)新入会員の承認

4名の個人会員及び法人会員1団体の入会につき

意義なく承認され、次回総会に諮る事が報告された。

(2)「ノーベル賞100周年記念国際フォーラム」に協力(後援)する事につき意義なく承認された事が報告された。

(3)学術会議主催のノーベル賞フォーラムに1口10,000円として日本地域学会より参加者1名を派遣する事につき意義なく承認されたことが報告がされた。

3)『地域学研究』別刷りの新料金体系について報告がされた。

4)学会名簿の印刷について、来年度実施することが報告された。

IV. 編集委員会 報告

『地域学研究(第31巻)』第2回編集委員会

日時:平成13年4月15日(日)11:00-12:40

場所:日本交通政策研究会会議室

出席者:有吉,井原,白井,太田,河村,木村,桐谷,熊田,酒井,鈴木,関根,高橋,田中,多和田,戸田,信国,萩原,氷鉤,藤岡,松行,三友,宮田,藪田,山村の各委員(ただし,青島,青山,浅田,阿部,伊藤,加賀屋,河上,河野,宮本の各委員より委任状付託);オブザーバとして櫻井,渋澤,森島の各幹事;松中年次大会実行委員会委員;坂田事務局秘書

『地域学研究(第31巻)』No.1の掲載候補論文の選考及び学会賞の選考が行われた。

『地域学研究(第31巻)』第3回編集委員会

日時:平成13年7月17日(日)11:00-12:30

場所:日本交通政策研究会会議室

出席者:青山,阿部,伊藤,井原,白井,木村,桐谷,熊田,河野,酒井,鈴木,関根,高橋,田中,多和田,信国,氷鉤,福地,藤岡,松本,宮田,藪田,山村の各理事(ただし,青島,浅田,有吉,河上,河村,戸田,萩原,原,三友,宮本,の各理事より委任状付託);オブザーバーとして櫻井,渋澤,森島の各幹事;坂田事務局秘書

『地域学研究(第31巻)』No.1の掲載候補論文の選考が行われた他木村No.2編集委員長より,Studies in Regional Science Vol.31 No.2の選考経過に

つき報告があった。

『地域学研究(第32巻)』第1回編集委員会
日 時：平成13年12月16日(日)10:30-12:10
場 所：日本交通政策研究会会議室

出席者：青山, 関根, 有吉, 五十嵐, 白井, 太田, 押谷, 加賀屋, 角本, 河村, 木南, 木村, 熊田, 鈴木, 関根, 田中, 多和田, 徳永, 中山, 信國, 萩原, 氷鮑, 福地, 藤岡, 松行, 三友, 宮田, 山村の各委員(ただし, 河上, 金, 河野, 酒井, 高橋, 戸田, 原, 福重, 藪田の各委員より委任状付託); オブザーバとしての松中年次大会実行委員会委員; 水野谷, 桜井, 澁澤の各幹事; 坂田事務局秘書

議題

1. 『地域学研究(第32巻)』no.1の編集

編集規程に基づき, 期限までに提出のあった論文の中から, 各2名の匿名審査に付すべき論文を選考し, それぞれについて委嘱すべき匿名審査委員を選出。

2. 平成14年度第11回学会賞選考

これにつき, 従来どおり, ホームページ, ニューズレター等で会員からの学会賞授賞選考候補者の自薦, 他薦を募集し, 次回委員会で行なう事を諒承。

V. 役員人事等

日本地域学会事務局, 各種委員会等の構成および交代についてお知らせします。

1. 事務局幹事の交代

総務・財務・庶務担当常任理事付幹事 岡嶋宏明(常磐大学)に代わり水野谷剛(筑波大学 生命環境科学研究科)。

2. 第39回(2002年)年次大会 準備委員会および実行委員会

今年度の年次大会は, 北星学園大学(〒004-8631 北海道厚別区大谷地西2-3-1)で開催されます。主として, その開催準備の労をおとり頂く準備委員会の方々は以下の通りです。

委員長: 原 勲(北星学園大学経済学部)

委 員:

原島正衛(北星学園大学経済学部)

修 震傑(北星学園大学経済学部)

秋森 弘(北星学園大学経済学部)

今野喜文(北星学園大学経済学部)

準備委員会事務局

北島雅見(北海道未来総合研究所)

角田 浩(北海道未来総合研究所)

鈴木淳子(北星学園大学学務課)

なお, この他に学会役員および幹事が準備委員の任に当ります。また, 当日の実行委員会は上記準備委員会で構成します。

3. 『地域学研究(第32巻)』編集委員会および第11回学会賞選考委員会

規程により, 標記編集委員会は平成13年度年次大会 実行委員長が編集委員長, 前巻の編集委員長が副委員長となり, 会長, 副会長, および総務, 財務, 庶務, の各担当常任理事および年次大会各セッションの座長が中心となって構成されます。また, 標記の学会賞選考委員会は, 同編集委員会委員が委員を兼任し, 前巻編集委員長が委員長, 同副委員長が副委員長となって構成され, 各々以下のとおりです。

『地域学研究(第32巻)』編集委員会

委員長: 青山吉隆(京都大学)

副委員長: 関根正行(東北学院大学)

委 員:

有吉範敏(熊本大学)

五十嵐日出夫(北海学園大学)

井原健雄(香川大学)

白井功(横浜国立大学)

太田浩(青山学院大学)

押谷一(酪農学園大学)

加賀屋誠一(北海道大学)

角本伸晃(松阪大学)

河上省吾(名古屋大学)

河村能夫(龍谷大学)

木南莉莉(龍谷大学)

金 裕赫(檀国大学校)

木村吉男(岐阜聖徳学園大学)

熊田禎宣(千葉商科大学)
河野博忠(常磐大学)
酒井泰弘(筑波大学)
鈴木多加史(追手門学院大学)
高橋秀悦(東北学院大学)
田中啓一(日本大学)
多和田眞(名古屋大学)
徳永澄憲(筑波大学)
戸田常一(広島大学)
中川大(京都大学)
中山恵子(中京大学)
信國眞載(名古屋市立大学)
萩原清子(東京都立大学)
萩原良巳(京都大学)
原勲(北星学園大学)
氷鉋揚四郎(筑波大学)
福岡克也(東亜大学)
福重元嗣(神戸大学)
福地崇生(朝日大学)
藤岡明房(敬愛大学)
細江守紀(九州大学)
松行康夫(東洋大学)
三友仁志(早稲田大学)
宮田讓(豊橋技術科学大学)
藪田雅弘(中央大学)
山村悦夫(北海道大学)
Peter Batey* (*Liverpool University*)
Kingsley Haynes* (*George Mason University*)
Geoffrey Hewings* (*Illinois University*)
Lars Lundqvist* (*Royal Inst. of Tech.*)
Gordon Mulligan* (*University of Arizona*)
Peter Nijkamp* (*Free University, Amsterdam*)
David Plane* (*University of Arizona*)
Jacques Poot* (*Victoria Univ. of Wellington*)
John Quigley* (*Univ. of California, Berkeley*)
Michael Sonis* (*Bar-Ilan University*)
Roger Stough* (*George Mason University*)

(* 理事会推薦による会長委嘱)

学会賞選考委員会(第11回)
委員長: 関根正行(前出)

副委員長: 有吉範敏(前出)
幹事: 櫻井一宏(筑波大学生命環境科学研究科)
委員: 上記編集委員

4. Editorial Board of *Studies in Regional Science*, no.2

Editor

Yoshio Kimura (Gifu Shotoku Gakuin University)

Co-Editor

Masahisa Fujita (Kyoto University)

Co-Editor

Shogo Kawakami (Nagoya University)

Co-Editor

Makoto Tawada (Nagoya University)

Associate Editors

Peter Batey (University of Liverpool)

Kingsley Haynes (George Mason Univ.)

Geoffrey Hewings (Illinois Univ.)

Yasuhiro Sakai (University of Tsukuba)

Yozo Ito (Senshu Univ.)

Lars Lundqvist (Royal Inst. of Tech.)

David Plane (Arizona University)

Jacques Poot (Victoria Univ. of Wellington)

John Quigley (Univ. of California, Berkeley)

Akio Matsumoto (Chuo Univ.)

Toshihiko Miyagi (Gifu Univ.)

Makoto Nobukuni (Nagoya City Univ.)

Peter Nijkamp (Free Univ.)

Michael Sonis (Bar-Ilan University)

Managing Editor

Yoshiro Higano (Univ. of Tsukuba)

5. 日本経済学会連合

日本地域学会選出評議員の変更についてお知らせします。氷鉋揚四郎(筑波大学農林工学系)に代わり福岡克也(東亜大学大学院環境科学専攻)。

VI. 平成14年度 日本地域学会 会費納入のお願い

日本地域学会 会員 各位

日本地域学会
会長 山村悦夫

謹啓 貴会員におかれましては益々御健勝のこととお喜び申し上げます。さて、早速ですが、同封致しました請求書のとおり、日本地域学会平成14年度会費をご請求申し上げますので、

納入期限: 平成14年3月末日

までに同封の振込用紙にてお支払い頂けますようお願い申し上げます。なお、預金口座引き落としの手続きを平成14年3月20日までに完了された方には、平成14年6月27日に請求内容にしたがって引落しを行いますので、新たに預金口座引落しをご希望の方は事務局までお早めにご連絡下さい。預金口座振替依頼書をお送り致します。何かと出費のかさむ折から誠に恐縮ですが、事務処理の円滑化および再度にわたる督促の経費節減、さらに予想されます円安傾向の為替リスク回避のため上記期限までの早期納入にご協力いただけますよう、かさねてお願い申し上げます。敬具

1. 平成14年度 日本地域学会 会費等 (適用期間限定)

- (1) 平成14年度 (平成14年4月1日 - 平成15年3月31日) 国内会費 **7,000円**
- (2) 2002年度 (2002年1月1日 - 2002年12月31日) 国際会費 **9,000円 (US\$65.00)**
- (3) *International Regional Science Review* 誌 (割引) 講読料 **3,000円 (US\$20.00)**
- (4) 学生会費 **9,500円**: 学生である会員については、国内会費 + 国際会費 + *IRSR* 誌 (割引) 講読料をセットで、9,500円に割引されます。身分証明証のコピーをfax等で事務局宛お送りのうえ、請求書の金額にかかわらず、9,500円をご納入下さい。

但し、これらの会費、講読料が適用されるのは、

(a) 納入期限: 平成14年3月末日までに上記会費を納入された日本地域学会会員の方、または (b) 平成14年3月20日までに預金口座引き落としの手続きを完了された日本地域学会会員の方に限ります。

2. 国際会費の期限内納入の特典

日本地域学会 理事会では、例年どおり5月末日を

RSAI 会費本部送金のデッドラインとすることにしました。

また、これに関連して外国為替市場の成り行きが不透明なこともあって、上記の金額で期限を遅れてRSAI会費をご納入頂いても、著しく為替差損を生じ、これを日本地域学会の一般会計が負担しなければならない危険がかなり高いものと見込まれます。

このようなことを考慮して、上記納入期限に遅れた場合には、

- (1) 国際会費として **11,000円**を請求する、
- (2) *IRSR* 誌 (割引) 講読料として **4,000円**を請求する
- (3) 学生割引を行わない。

ということをご理事会で決定致しております。この主旨をご理解いただき、会費関連の事務処理の円滑化、経費節減にご協力頂けますよう、事務局からも重ねてお願い申し上げます。

VII. 第39回日本地域学会年次大会

(平成14年10月5-6日)

論文報告の募集

平成14年度(2002年)日本地域学会第39回年次大会は、北星学園大学において下記のとおり開催されます。会員諸賢におかれましては論文報告、特別セッションの編成等、奮ってご参加ください。

記

開催日時: 平成14年10月5日(土)-6日(日)

開催校: 北星学園大学

開催地: 〒004-8631 北海道厚別区大谷地西2-3-1

北星学園大学 経済学部

大会準備委員会 委員長: 原 勲

(北星学園大学経済学部教授 日本地域学会理事)

共通論題:

- (a) 情報通信技術と空間経済
- (b) 地方分権と地方財政
- (c) 地域および地球環境
- (d) 道路交通とネットワーク
- (e) テーマパークと地域発展
- (f) 大都市問題
- (g) 持続可能都市・地域システム
- (h) 中心市街地空洞化問題
- (i) 多地域経済成長モデル
- (j) 地域産業政策

(k) 地域の金融機能

(l) グローカリズム

(m) 構造改革と地域政策

一般論題: 立地, 人口移動, 地域経済, 等の地域学
一般の課題すべて

総会日時: 平成 14 年 10 月 5 日 (土)

13:20-(予定)

(公開) シンポジウム日時:

平成 14 年 10 月 5 日 (土) 14:20-(予定)

シンポジウム・テーマ: 地域政策の新しいフロンティア
を求めて

以上

[論文報告] を希望される方は,

1. 論文タイトル
2. 上記が和文の場合には, 同英文訳
3. 著者名, 所属 (複数の場合には, 発表者を明記)
4. 同上英文表記
5. Abstract: 和文 (700 字以内) および
英文 (200 words 以内) の双方を提出
6. 対応責任者氏名, 連絡先住所, tel, fax,
e-mail アドレス等
7. 希望討論者 2 名 (会員に限る; 場合によっ
ては, 希望通りとならないことを
あらかじめご承知おき下さい)

を明記して, また

[特別セッション編成] を希望される方は,

- (i) セッションタイトルおよびセッションの意図,
内容等の概要 (和文 300 字以内, 英文 100 words
以内)
- (ii) 座長 (1-2 名の会員) 氏名, 所属, 同英文表記
- (iii) 1 セッション当り, 3-4 編の報告を目的に各
論文についての上記論文報告希望に準ずるデー
タ. 但し, 討論者は, 各々の論文について 1 名
でも可.

を明記して, e-mail, fax または封書等で奮ってご
応募下さい (応募締め切: 平成 14 年 5 月 31 日).

問い合わせおよび論文報告等の応募は以下へお願いし
ます.

水鉋揚四郎 (ひがの ようしろう)

日本地域学会

事務局長 (総務担当常任理事)

筑波大学 農林工学系 教授

〒 305-8572 つくば市天王台 1-1-1

tel, fax: +81-298-53-7221

E-mail: higano@kaishu.envr.tsukuba.ac.jp

VIII. PRSCO 夏季研修集会バリ島大会: 平成 14 年 6 月 20 日 (木)-21 日 (金)

既に, 国際会員の方々には RSAI のニューズレ
ターなどでお知らせ致しましたが, 表記国際学会の
発表申し込み締め切りが迫っています. HP の締め
切りは, 1 月末日となっておりますが, この締め切
りは 2 月末日まで延期されることとなっております.

大会会場は, ヌサドアビーチのホテル集積地域
にある Melia Bali で, 安全で快適なホテルです.
参加者には特別料金が設定されており, 1 泊 1 部屋
superior タイプで 85.00 US\$, また suite で 125.00
US \$ です.

日本地域学会がメインとする国際大会の一つで
ありますので会員諸賢におかれましては奮ってご参
加ください. 大会の情報は, 下記 HP にアクセスす
ると得られます.

<http://www.irsa.naraindra.or.id/confer.htm>

IX. 学会賞 授賞者選考候補者推薦の募集

日本地域学会では, 地域学 (regional Science) の
発展に貢献するすぐれた会員の業績をたたえるため,
日本地域学会 学会賞を毎年授与しています. 今年
度も第 11 回日本地域学会 学会賞授賞者選考候補者
推薦の募集を行いますので, どうか奮ってご応募下
さい.

学会賞は以下の各賞からなります.

功績賞: 地域学の進歩および学会の運営に顕著な貢
献をなした会員を表彰する.

論文賞: すぐれた研究論文によって地域学の発展に
著しく寄与し, 研究業績の意義や貢献が多大
である会員を表彰する.

奨励賞: 若手研究者ですぐれた研究論文を発表した
会員を表彰する.

受賞者には、賞状と純銀製メダルが授与されます。

(http://jsrsai.envr.tsukuba.ac.jp/Award/appl_jap.html を参照)

第11回日本地域学会学会賞 授賞選考候補者 推薦 応募要領

◇応募期限：平成14年4月9日(火)(事務局必着)

◇応募方法：功績賞への応募は他薦のみですが、論文賞と奨励賞への応募は自薦、他薦の別を問いません。

◇推薦資格：推薦者は、日本地域学会会員であることが必要です。

◇受賞資格等：

(1) 論文賞および奨励賞の表彰対象となる研究業績は、過去2年間(暦年)に発表したもので、その主たるものが本学会関連誌『地域学研究 (*Studies in Regional Science*)』および *Papers in Regional Science of the RSAI* に掲載されている論文であることが条件です。

(2) 奨励賞の応募については、年齢がその表彰対象となるべき主たる研究業績の発表当時35才未満であったことが必要です。

◇選考方法：「日本地域学会 学会賞(奨励賞・論文賞・功績賞)に関する規程」に基づく選考委員会の審議による。決定次第、受賞者には連絡します。

◇授賞式：第39回年次大会における総会(平成14年10月5日(土)北星学園大学)にてとりおこないます。

◇応募用紙の請求：日本地域学会事務局まで賞の種類を明記してご請求下さい。

X. 会員の移動

新入会員

正会員

青 正澄(あお まさずみ)

青木 卓志(あおき たかし)

赤谷 隆一(あかたに りゅういち)

秋森 弘(あきもり ひろし)

阿久根 優子(あくね ゆうこ)

明野 齊史(あけの ただふみ)

畔上 秀人(あぜがみ ひでと)

飯田 高正(いいた たかまさ)

伊藤 あずさ(いとう あずさ)

井上 貴文(いのうえ たかふみ)

岩見 昌邦(いわみ まさくに)

植田 康孝(うえだ やすたか)

内川 沙織(うちかわ さおり)

ULGER Suleyman(うるげる すらいまん)

江良 亮(えら あきら)

大城 純男(おおしろ すみお)

大野 幸一(おおの こういち)

岡 敦子(おか あつこ)

小川 直仁(おがわ なおひと)

鬼木 甫(おにき はじめ)

各務 和彦(かかむ かずひこ)

金森 亮(かなもり りょう)

木口 知之(きぐち ともゆき)

北村 幸定(きたむら ゆきさだ)

北村 隆一(きたむら りゅういち)

樹下 明(きのした あきら)

木村 富美子(きむら ふみこ)

木村 雄一(きむら ゆういち)

草津 英律(くさつ ひでのり)

古倉 宗治(こくら むらはる)

近藤 智(こんどう さとし)

Kongruang, Chuleerat(こんるあん ちゅりらーと)

坂本 博(さかもと ひろし)

佐々木 栄洋(ささき よしひろ)

三本松 憲生(さんぼんまつ のりお)

石 敏俊(し みるじゅ)

清水 康生(しみず やすお)

修 震傑(しゅう ぜんじ)

鄭 美(じょん み)

末廣 泰雄(すえひろ やすお)

須賀 宣仁(すが のぶひと)

鈴木 克典(すずき かつのり)

染谷 広幸(そめや ひろゆき)

高岡 昇平(たかおか しょうへい)

高橋 常夫 (たかはし つねお)
田口 清則 (たぐち きよのり)
竹本 勝紀 (たけもと かつのり)
谷川 徹 (たにがわ とおる)
Damar, Hario (だまーる はりお)
Tengku M.Faziharudean (てんく えむ ふあじはる
でいん)
戸松 稔 (とまつ みのる)
NIJKAMP, Peter (ないかんぷ ぴーたー)
中平 恭之 (なかひら やすゆき)
中山 義光 (なかやま よしみつ)
西村 和司 (にしむら かずし)
野田 英雄 (のだ ひでお)
朴 昭貞 (ぱく そじょん)
張本 燦 (はりもと あきら)
廣松 毅 (ひろまつ たけし)
付 波 (ふう ぼう)
福山 博文 (ふくやま ひろふみ)
藤澤 昌利 (ふじさわ まさとし)
前田 典昭 (まえだ のりあき)
牧瀬 稔 (まきせ みのる)
松岡 勝博 (まつおか かつひろ)
松島 格也 (まつしま かくや)
松本 源太郎 (まつもと げんたろう)
丸山 佐和子 (まるやま さわこ)
三橋 博巳 (みつはし ひろみ)
本村 裕之 (もとむら ひろゆき)
森岡 理紀 (もりおか りき)
矢部 浩規 (やべ ひろき)
尹 鍾進 (ゆん じょんじん)
吉田 晶子 (よしだ あきこ)
米谷 一心 (よねや かずもと)
劉 勤 (りゅう きん)

法人会員

社団法人北海道未来総合研究所
株式会社アクトブレーション

退会会員

正会員

芦沢 宏生

有村 俊秀
飯島 達也
伊藤 嘉洋
伊原 豊實
江良 亮
大松 寛
梶田 敬仁
加藤 修一
葛原 智
杉野 学
瀬尾 芙巳子
孫 林
武田 文夫
出村 暢啓
戸田 明人
富元 國光
西脇 圭一郎
根木 昭
Pang, Xiaojin
樋口 洋祐
水野 敬三
山崎 慎治
山崎 善生
山里 将晃
吉本 諭
李 海英
王

XI. 新入会員勧誘キャンペーン

今年も新入会員勧誘キャンペーンを継続して行っておりますので、会員各位には多数の新規加入者をご紹介頂けますようよろしくお願い致します。年次大会の発表者は共同発表者も原則として会員の方となっておりますのでご発表を予定されている方には、お早めに手続きをなさるようお願い致します。